

寒川町議会議員・小泉しゅうすけ

# 議会報告

2017年・春号

## 2月の選挙で当選させて頂きました

この度の寒川町議会議員選挙において、私、小泉しゅうすけが真っ先に挙げさせて頂いた公約は「すべての人たちに優しい寒川に」ということでした。町内、多くの方々からご意見をお伺いしながら活動を続けてまいりましたが、育児や健康、教育や介護など、生活の基本的なところで行政に対しての様々な要望がありながら、それらがなかなか実現されず、結果として不自由な生活を強いられている、そうした声を多くお聞きしてきました。小泉しゅうすけは皆さまともっとも近い距離から、こうした声を議会に届け、政治の側から解決していく、そうした議員となるべく、これからの任期の中で精一杯活動を続けてまいります。



また寒川町の課題として、人口減少社会が迫る町の活性化のための産業振興、首都近郊でありながら盛んな農業の維持発展、老朽化を迎えた

公共施設の今後のあり方、厳しさを増す財政状況、そして大震災など自然災害に備え町民の皆様の生命を守るための施策など、これから議会において解決していかななくてはならない課題が大量にあります。小泉しゅうすけはこれらの問題にしっかりと向き合い、皆様の声を積極に取り入れながら、この町をより良い町にするために、これからも走り続けていきます。今後とも皆さまのご意見ご声援をよろしくお願い申し上げます。

## 2017年度3月議会のご報告

2月19日に寒川町議会議員選挙が行われ、当選証書授与式や全員協議会（議員全員が参加する会議）を経て、直ちに3月議会が開催されました。3月議会では平成29年度の予算案の他、政府による政令の変更に伴う各種条例の条文変更など、全14法案の審査及び採決が行われ、全て原案通りの採決となりました。

また合わせまして一般質問も行われ、私、小泉しゅうすけは「ふるさと納税制度について」「コミュニティバスについて」の二本立てにて一般質問を行いました。ふるさと納税制度については『ニュースなどでもたまに出てくるが寒川町ではどうなっているのかよく分からない』コミュニティバスについては『車を持たない人や高齢者のためにも公共交通が便利になってほしい』などのお声を地域の方々からも頂きましたので、本会議の場で取り上げさせて頂きました。

## ふるさと納税制度の実態は？

ふるさと納税制度は、本来は『地方の間での格

差や人口減少などによる税収の減少に悩む地方自治体に対して格差を是正するため、もしくは出身地である地方自治体から離れて暮らす人々がふるさとへ貢献したいとの思いを受け止めるため』といった目的で創設されたもので、他自治体に対して寄付をするとその分は税金から控除される、という制度になっております。ですが現状では寄付を多く集めるべく返礼品を巡って自治体間で競争になっており、年々、実際に寄付される金額も増え、結果として町税に対する控除額も増えているという状況です。

寒川町においてもふるさとチョイス (<https://www.furusato-tax.jp/>) にて返礼品を紹介し寄付を集めておりますが、現状では寒川町に対して寄付される金額よりも、町内在住の方が他自治体に寄付をする金額の方が多く、結果的にその金額が寒川町の町民税の減収となっていることが明らかになりました。



ふるさとチョイス

平成29年度の予算案の審査でも問題となりましたが、町の財政は非常に厳しい状況が続いており、29年度は昨年度に比べ減収が見込まれるため、支出も細かなところまでチェックされ削減されている状況です。そして、このふるさと納税制度によっても少なくない金額の減収となっている現状ですが、政府で定められた制度ですので寒川町の側から辞めるという選択は出来ません。政府の側でも返礼品競争に歯止めをかけるべく、返礼品の調達額に歯止めをかけるべく通達を出すなどの状況になってはいますが、しばらくはこの状況が続きます。

ただしふるさと納税制度は、単純に財政的に得か損かで割り切れない制度であるのも事実です。**返礼品によって全国に寒川町の産業をアピールする機会となっているのも確か**です。私の質問に対して町当局の側からは『寒川町の魅力ある返礼品の掘り起こし』を努力したい旨の回答がありました。また他自治体に目を向けますと、例えば東京都世田谷区などでは児童養護施設を退所し大学などへの進学を目指すお子さんのための寄付などを募り、開始一年で2000万円超の寄付が集まっている例も私の方から質問で例示しまして、町当局からもそのような『用途目的を掲げより多くの寄付をいただけるよう』努力するという回答も引き出しました。私としましても、今後ともそうしたアイディアを積極的に提案していきたいと思っております。

	平成27年度	平成28年度
ふるさと納税による控除額	1089.6万円	2180万円 (見込み)
ふるさと納税の寄付額	843.25万円	1013.5万円 (2月迄)
返礼品経費	420万円	510万円 (見込み)
手数料	150万円	160万円 (見込み)
実質寄付額	270万円	360万円 (見込み)
制度収支	-820万円 (約)	-1820万円 (見込み)

## コミュニティバスのあり方について

現在、寒川町では倉見・大村ルート、東ルート、そして南ルートのコミュニティバスが運行されております。ですがこのコミュニティバスで、特に南ルートが走る一之宮地区にお住まいの方からは、買い物などで不便であるとお声をしばしば聞きつつも、南ルートのバスの利用者が極めて少ないことから、議会の場で質問させていただきました。



他の自治体を見ますと、コミュニティバスに限らず公共交通が財政難からも次々と廃止され、住民のニーズに応えられなくなっている例が多々発生しておりますが、町当局からは『町民の移動手段の確保は重要なことであると認識』していること、さらに『利用促進策などを引き続き検討していく』との回答がありました。



寒川町コミュニティバス（8人乗り）

コミュニティバスは町が主体となり運行しているものですが、町が思い通りのルートで走らせることが出来るものではなく、『警察署と協議し、了承を得て』初めて運行できるものだと回答もありました。コミュニティバスの運行当初は34人乗りのバスのみだったために、特に倉見地区で走らせることが困難でしたが、その後、8人乗りの小型車両が導入され、今の倉見大村ルートに関してはそのことで運行が可能になったという経緯もあります。ですが一之宮地区、特に一之宮公園周辺では住宅地の中にも入ってきてほしいという要望はありながらも、8人乗り小型車両でもすれ違いが困難との理由で警察からの許可が取れなく、結果として現状の運行ルートとなっているとのこと。

町としてはコミュニティバスを『鉄道駅から半径1km、路線バスのバス停から半径300mのエリアから外れ、日常生活の中で介助などが必要とせず自らが外出するための移動手段が必要な人』向けに運行しているとの回答がありましたが、実際にはそれでもなお買い物などでは困難な事例も多く、越の山地区では自治会などの地域ボランティアによって近所の方の買い物支援として車を走らせるなどの取り組みがなされていることも町当局から説明されました。こ

うした取り組みに対しては町の側も『支援のための制度やモデル事業などの提案を検討する』とのことですので、町民の方々からも積極的に提案などをしていただければと思います。

また私の方からは、コミュニティバスの利用促進のため、ダイヤ運行表に「(相模線などへの)乗り継ぎのための案内を作成し共に配布してはどうか」との提案も行い、こちらについては町当局からも『ホームページや広報などでも前向きに取り入れていきたい』との回答を得ました。乗り継ぎの案内がされるようになると、駅まではコミュニティバスで行き、そこからスムーズに電車に乗ることが可能になりますので、バスがより便利になることと思います。そうしたそれほどコストがかからない方法で町民の方々の利便性をあげていくことは、これからも積極的に提案していきたいと考えます。

## ご意見をお待ちしております

初当選後、議会において会派は大志会に所属いたしました。常任委員会では建設経済常任委員会、及び総務常任委員会、さらに特別委員会では東海道新幹線新駅対策特別委員会に所属いたしました。地域の発展のため、そして何よりも町民の皆様の暮らしをより良い物にするために、今後とも活動を続けていきたいと思っております。

町民の皆様、一人一人の声が、私、小泉しゅうすけの政治の原動力です。日常でお困りのことからこんな町になって欲しいなど、どんどんご意見をいただければと思います。お電話やメールはもちろん、地域の活動などで見かけた際などにお声がけを頂けると幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

小泉しゅうすけとあたたかな寒川を作る会  
2017年4月発行（討議資料）  
〒253-0106  
寒川町宮山1268-4クレイン栗原D号室  
Tel : 080-7016-4802  
Mail: koizumi@samukawa.info  
Web : http://koizumi.samukawa.info/

2017年春

# タウンミーティング のお知らせ

町議会議員  
小泉しゅうすけ

日時：5月21日（日）  
13時～15時30分

場所：寒川町民センター視聴覚室

会費：無料

2017年2月の寒川町議会議員選挙で初当選させていただきました小泉しゅうすけです。3月は初めての議会でしたが、町民の声を政治の場で伝えるべく、一般質問などで様々な取り組みを行ってまいりました。

タウンミーティングでは、小泉しゅうすけからは議会活動のご報告を、そしてご来場いただいた皆様からは『こんな取り組みをしてほしい』『町にこんなことをして欲しい』などお気軽にご意見をお伝えいただければと思います。本会終了後、6月議会も始まります。いただいたご意見は議会でも積極的に反映していきたいと思っておりますので、ぜひご参加のほど、よろしく願いいたします。



## 小泉しゅうすけ(秀輔)プロフィール

1978年8月2日生まれ 現在38歳。IT系大手メーカー勤務/外注ゲームライターを経て、衆議院議員阿部知子の秘書に着任。2017年2月の寒川町議会議員選挙に当選し、現在、寒川町町議として1期目。大志会所属。議会にて建設経済常任委員・総務常任委員。また町の青少年問題協議会委員。地域では寒川ライオンズクラブ会員としても活動中。